

発行所
天理教笠岡大教会

かさおか編集掛
笠岡市用之江377
郵便番号714-0066
(0865)

電話 66-1311
FAX 66-1314

かさおか



初代の心にかえり信仰の喜びを
深めよう 伝えよう 広げよう

- 一、持ち場立場で日々理作り
- 一、家族揃って教会参拝
- 一、一日一件にをいがけ

立教173年
1月号

立教百七十三年

明けましておめでとうございませす

教祖百三十年祭に向けての成人の歩みの最中、中間の山場と位置付けた大教会創立百二十周年記念祭に向け、三年千日と仕切って歩み出した昨年、皆さん方には一手一つに心を揃えて精一杯におつとめ下さいまして誠にありがとうございますございました。お陰で大きく前進させて頂いた一年であったように思います。

続いて二年目の今年も飛躍の年にしたいと思ひます。その為には、もう十分に心に治まっていると思ひますが改めておつとめ奉仕人の増員が目標である事を再確認し、

「初代の心にかえり、信仰の喜びを深めよう、伝えよう、広げよう」のスローガンに込められた真意を悟り、三つの実践項目の実動に邁進しなければなりません。中でも一年目の昨年は「持ち場立場で日々「理作り」に重きを置いて実動した感がありますので、二年目の今年には「家族揃って教会参拝」に重きを置いて実動に励みたいと思ひます。これは昨年の秋の大祭での真柱様のお言葉「く家族の団欒は、銘々の心一つで味わえるものだと思ひるのであります。にもかかわらず、そのための心遣いを知らない

がゆえに、陽気ぐらしとはほど遠い生き方をしていゝる人々が、世間には大勢いゝるのであります。それだけに、私たち自身が互いに心を合わせ、たすけ合う家族の姿をつくり出し、周囲へ映していく努力が求められていゝる」にお応えするものであり、お言葉通り「家族揃って教会参拝」が、ひいては「広げよう」に繋がって行くからであります。

言うまでもなく実践項目は三つ一つであり、どれ一つとして欠けていゝものはありません。でも敢えて「重きを置いて」としていゝるところの思ひを十分に受け止めて頂いて、今年一年悔いの残らないよう成人の歩みを進めて下さいますようお願い申しあげて、新年の挨拶とさせていただきます。

笠岡大教会長

上原 理一

立教173年

各部会の抱負

及び

年間行事予定

この項は一月二十日、大教会年頭会議において配布された小冊子『立教173年 年頭会議各部会の抱負及び年間行事予定』の再掲です。

布 教 部

笠岡大教会では、創立120周年記念祭に向けて、三年千日の1年目を、

初代の心にかえり信仰の喜びを

深めよう 伝えよう 広げよう

の活動スローガンに、

一、持ち場立場で日々理作り

一、家族揃って教会参拝

一、一日一件にをいがけ

の実践項目に、皆様と共に精一杯つとめさせて頂きましたが、本年は2年目の実動の年を迎え、一層「元氣の出る教会」を目指して、思召に向って、力強く歩ませて頂きたいと願っております。

全体行事として、6月27日「別席ひのきしん

団参」と10月31日「笠岡一手一つ大会」が実施されます。実行委員会の動向に合わせて、活動を進めさせていただくことになると思います。どうか今年も日々ご存命の教祖にお喜び頂けるよう、ご安心いただけるよう一手一つに明るく勇んでつとめさせて頂きましょう。なにとぞよろしくお願ひいたします。

◎年間行事

1. 立教173年 教会長講習会

テーマ 「元氣の出る教会に」
日 時 2月26日
午後1時30分 受付
2時 開講
27日正午 閉講

講 場 笠岡詰所
講 師 日本橋部属 報徳分教会長
中 臺 勘 治 先生

内 容 ○元氣の出る教会を目指して勉強

○朝・夕づとめ・霊祭・年祭等のシヤク板のつとめ方の勉強

対 象 教会長

受講お供 3,000円(受付で納めて下さい)

※身上等でやむなく欠席の場合は、その理由を必ず大教会長様に連絡して頂くようお願い致します。

※26日午後、中臺先生の講話を聴講希望の方は遠慮なくお越し下さい。

2. 立教173年 全教一斉ひのきしんデー

期 日 4月29日

※参加者の声掛けを(特に教会と離れた地域に住まうよふぼくに所属教会から積極的に声掛けをするようお願いします)

3. 全教一斉にをいがけデー

・ 9月28日(火) 全教会長路傍講演の日

・ 9月29日(水)・30日(木)

全よふぼく実動日

・ 9月は布教強調の月です。今年も8月下旬(土日)から9月上旬(土日)の一週間、青年会と合同で路傍講演・神名ながし・戸別訪問・ひのきしん等、計画しております。

海 外 部

活 動

現在、大教会の海外に在住する用木・信者は、布教所を含めてアメリカ・台湾(中国)・ブラジル・タンザニアと四ヶ国に亘る。大教会長様の海外部員への思いを聞かせて頂いたところ、「直接海外での布教という事は難しいと思うので、海外に携わる方々への丹精と、そして子供など後継者の育

てをしてほしい」と聞かせて頂きました。海外部の部員は英語・中国語が話せる、又現地に在住している部員を含め14人。笠岡へ繋がる方々の日本での海外からの訪問者へのをいかけ・丹精のお手伝い。将来を見据え、英語・海外へ思いを持っている人々の育成(英語講習会)。また海外へ在住する学生・派遣者・在住者への繋ぎと丹精として『かさおか』・『陽気』・『英文TENRIKYO』等を定期的に海外へ郵送と、アメリカ・台湾、昨年初めてタンザニアへの現地訪問等の活動を行っています。

更に一昨年末、用木となったタンザニアのマユンガ医師との連携の元、岡山教区・広島教区の繋がりを持って、一昨年よりタンザニアの孤児の子供達に向けての衣料救援を始めました。一昨年は866カートン、昨年末には906カートンの衣料・毛布・タオルなどを送らせて頂きました。そういった活動の繋ぎをさせて頂くのが有難いです。

また、毎月の例会では海外在住の信者さんの現状報告や海外事情の勉強もさせて頂いております。何かお手伝い出来る事があれば、気軽に部員に声を掛けて頂ければと思います。

年間行事

1. 今年の活動内容は、3月と9月に広島・倉敷の観光地へ英文パンフレットを持ってにをい

がけに行きます。これは今年初めての試みですが、海外伝道に携わらせて頂く理作りをさせて頂こうと思うものです。

2. 8月6・7日と英語講習会を行います。昭和43年に始まったこの講習会は今年で68回目を数えます。毎年海外のネイティブスピーカーをゲストとしてお呼びし、参加者と直接話したり、海外の思いを聞かせて貰います。英語に興味のある人を始め、将来海外伝道を目指す人達のお手伝いが出来ればと思います。多才なスタッフによる英語教材、コンピューターを使った学習、映画などが盛り込まれています。海外経験者の話や日本との違いなどを通して視野を広め、将来国際的な発想の出来る人材育成の一助になればと思います。

参加対象者は小学生高学年以上・中学生・高校生、また大学生・専門学校生や一般の方。アシスタントスタッフとして受講されることも歓迎致します。

3. 11月には月次祭に合わせて本部講師をお呼びし、海外伝道に携わる話を聞かせて頂き、外に向かった心の育てを共に培わせて頂きたいと思えます。

4. 昨年末より、アフリカ・タンザニアの孤児院への衣料救援を目的として、大教会で募金の窓口を開いております。昨年末に衣料と共に、天理井戸田布団店より毛布100枚、岡山市内の教会からタオル360枚の寄贈を頂きまして、その郵送料として当てさせて頂きました。有難うございます。これからも微々たる歩みですが、善意の心寄せを繋げていきたいと思えます。

今後とも海外部の活動にご協力、ご指導下さいますようお願い申し上げます。
以上海外部活動の簡単な紹介をさせて頂きました。

管理部

大教会創立百二十周年に向けて、今年も庭・植木等環境を整理し、気持ち良く記念祭を迎えられる様にさせて頂きたいと思えます。

活動実施日は、その都度発表させて頂きますので老若男女を問わず一人でも多くひのきしんに御参加下さいますようお願い致します。

- 2月頃 墓地垣根 植え替え
- 10月頃より 植木剪定
- 12月22日 大教会大掃除

婦人会

新年おめでとうございます。昨年は婦人会創立百周年会員決起の集いの上に、又婦人会別席月間に皆様方の大きなお力添えを頂きましたことを心より御礼申し上げます。ありがとうございました。

年が明け、一月二十八日に、婦人会は創立百年を迎えさせて頂きます。

婦人会員終生の成人目標「ひながたをたどり陽気ぐらしの台となりましょう」の活動方針を、百周年を超えさせて頂く今、「元なる思召を心に、実のよう^{まこと}ぼくに育ちましょう」一、教えを基に自らの信仰心を培う 一、おつとめに心を込める 一、身近な人からにをいがけ・おたすけを、と改めさせて頂き、百周年を超え、飛躍の年となるよう、つとめきらせて頂きたいと思ひます。

日々常に元なる思召を求め、一人一人が実動するようぼくに育たせて頂けますよう、頂戴している徳分を生かし家庭のゆるがぬ信仰の台として、力をあわせてつとめてゆきたいと思ひます。

創立百周年という年を皆様方の合力を頂きつとめられますようお願い申し上げます。本年も何卒よろしくお願い申し上げます。

◎年間の主な行事

- 1月28日 創立の日
- 2月3日 委員・直轄委員長研修会
- 3月20日～5月10日 創立百周年展示会及び別席月間
- 4月18日 創立百周年女子青年の集い
- 4月19日 創立百周年よろこび広場
- 4月22日 創立百周年記念第92回総会
- 8月22日 女子青年おつとめ大会
- 9月23日 委員長後継者講習会
- 10月20日～11月30日 並びに 母親講座
- 別席月間
- *例会 婦人会笠岡支部 毎月3日
- *ひまわり会 毎月1日
- *女子青年 毎月1回(不定)

青年会

新年明けましておめでとうございます。昨年は、青年会活動の上に、多大なるお力添えを頂き、誠にありがとうございました。本年もより一層お力添え頂きますよう、よろしくお願い致します。

さて、昨年は「天理教青年会笠岡分会総会」を

賑やかに開催し、「前へ！前へ！」というキャッチフレーズの下、新たなスタートを切る事ができました。本年は、より前へ、加速した活動を展開していきたいと思っております。

どうか皆様方も、ご参加・声かけをよろしくお願い致します。

◆本年の分会活動は、

『十三峠越え』・・・5月29・30日
『おやさとしん青年会ひのきしん隊』

・・・6月1日～24日
『部属分会委員長練成会』・・・8月29日

『全分会布教推進週間』・・・8月29日～9月5日

『第86回 天理教青年会総会』・・・10月27日

『ひのきしん団参』・・・11月28日

その他、大教会諸行事ひのきしん・毎月例会(20日)・詰所売店などがあります。

詳しくは、こちらをご覧ください。

青年会笠岡分会ブログ

<http://kasaokabunkai.blog.shinobi.jp/>



少年会

今年も教会おとまり会を実施し、こども達に信仰のよろこびを伝えましょう。

行事計画：会場はキャンプ以外大教会です

○育成講習会・・・3月21日

- ・教会おとまり会ですぐに役立つゲーム、うたを中心にした勉強会です。
- ・やる気があれば80歳でもOK。

○鼓笛合宿・・・3月30日～4月1日(2泊3日)

- ・こどもおぢばがえりのお供え演奏曲の練習を主体にした合宿。
- ・幼児でもおかあさんといっしょに参加であればOK。

○おつとめまなび総会・・・4月1日

- ・教会おとまり会などで練習した成果を親神様・おやさまにご覧いただきます。
- ・将来のおつとめ奉仕者を育てよう。
- ・午後はお楽しみ行事もありますよ。

○縦の伝道講習会・・・5月21日

- ・少年会本部委員の縦の伝道についての講話。
- ・育成の上で大切な角目を勉強しましょう。

○キャンプ・・・8月22日～24日(2泊3日)

- ・キャンプを通じて自然との共生を楽しむ。
- ・かしもの・かりものの有難さ、素晴らしさを体験。

学生担当委員会

平成22年度

天理教学生担当委員会 活動方針

基本方針

『お道の素晴らしさ、教祖の御心、
たすけ心を学生へ』

重点活動項目

- 一、全教区・全直属での学生層育成者講習会の開催
- 一、学生生徒修養会への教会長子弟、初参加者増員に向けての働きかけ
- 一、高校生の集い「まなびば」の充実

大教会の年間行事について

○学生層育成者講習会

・・・2月21日 大教会にて開催
学生層をはじめとする道の後継者育成の大切さを広く理解していただくため、月次祭の祭典講話として毎年開催させていただいてお

ります。

今年の講師は、岩佐円秋先生(本部学生担当委員会・学生生徒修養会部部长、南阿大教会長)です。

○春の学生おぢばがえり・直属アワー

・・・3月28日 本部にて開催

「テーマ」世界の友にをやの思いを

～さあ！こい、おぢばから～

毎年3月28日、お道につながる全ての学生がおぢばに帰り集い、真柱様からいただくお言葉を指針として今後の成人を誓い合う「春の学生おぢばがえり」が開催されます。直属アワーでは、大教会長様のお話・親睦行事・会食などが行われ、笠岡につながる学生生徒たちが親交を深めます。参加にあたりましては、各教区が企画する団参をご利用ください。

道の学生成人目標

- 一、生かされていることに感謝しよう
- 一、お道の素晴らしさを伝えよう
- 一、進んで教会につながろう

○おぢば管内の学生の集い

・・・1月31日(日)・4月25日(日)

おぢば管内で学ぶ学生を対象に行う親睦行 詰所にて開催

事です。大教会長様にもお越しいただきお話を頂戴します。是非ご参加下さい。学生には案内を出しますが、こちらで把握できていない学生もありますので、おちば管内で学ぶ学生がいらっしゃればお知らせ下さい。

その他おちばで開催される主な行事

○学生生徒修養会

高校の部・8月9日～15日
大学の部・3月3日～9日

・大学の部修了者数

617名(内、笠岡より2名参加)

・高校の部修了者数

1425名(内、笠岡より14名参加)

日頃おちばがえりをする機会の少ない高校生が夏休みを、大学生が春休みを利用して全国各地から親里に集い、一週間の合宿生活を通してお道の信仰に目覚め、その後の歩みに役立つよう工夫された行事です。ほぼ全員の学生が「参加してよかった」「また来年も参加したい」と言う行事で一週間で学生が見事に変身します。

○おせち学生ひのきしん隊・1月4日～7日

新春、おちばでの恒例行事「お節会」に際して、会場内の整理・誘導・接待・洗い方などのひのきしんや親睦行事を通して、同じお道を歩む仲間が、ひのきしんや信仰について、

また普段それぞれが思うことを語り合ったりと3泊4日の貴重な合宿です。対象は高校生・大学生・短大生・大学院生・専門学校生です。申し込みは各教区の学生担当委員会へ。

教区行事(主なもの)

○春の学生おちばがえり

○高校生の集い「まなびば」

同じ地域に住むお道につながる仲間同士が、お道の教えにふれ、少しでも教えに基づいた生き方を身につけてもらえるよう開催している行事。

○道の学生ひのきしんDAY

全国各地で、約2000人以上の学生がひのきしんに励みます。昨年は9月21日に「みんなと、広げよう！ありがとうの笑顔を!!」をテーマで実施され、2395名が参加。

定期刊行物

○はっぴすと(高校生・大学生育成のための月刊誌。平成20年4月号より、大学生・専門学校生まで対象が広がりました。)

天理教学生会ホームページ

.....<http://www.tsa.gr.jp/>

雅 鶯 会

○雅楽勉強会.....2月6日(土)
今年も日本最古の音楽を勉強してみませんか。

対 象 初心者・初級者(少年会員、一般)
内 容 初心者は、雅楽の基礎から勉強を、また初級者は、平調の越殿

楽が合奏できるよう勉強します。

と ころ 大教会
講 師 大教会雅楽奉仕者
参 加 費 300円
申 込 込 み 1月29日までに大教会に申し込み

※楽器は各自持参ですが都合がつかない人はご相談に応じます。

HAPPY NEW YEAR!



年末大掃除

12月22日、恒例の大教会年末大掃除が行われました。

朝9時より大教会長様の指示の下、お社・神床・神殿と普段手の行き届かないところの掃除、そしてご婦人は教会内の清掃や窓ふきにと、精一杯おつとめ下さいました。

約60名の方のひのきしんにより、大層きれいになり、一年の締めをさせていただくことが出来ました。有難うございました。



↑ 大教会長様の先頭指揮のもと
精を出される役員先生方 ↓



伸縮梯子を最大に伸ばして、
やっと手が届く高さ!!



足場板レールの上に乗った
二階建ての台車を4人掛かりで動かす

詰所餅つき

本部のお節会は毎年1月5日より7日まで開かれる。その御供え用の鏡餅をつくひのきしんが毎年詰所で年末27日に行われる。今年も26日の洗米・準備に約10名程の人が寄り、27日には40名を越える人がひのきしんに汗を流した。

終了後、森本重吉さん夫妻よりうどんが振る舞われ、つきたてのお餅と併せて皆は舌鼓を打って賑わった。

本部のお節会は毎年1月5日より7日まで開かれる。その御供え用の鏡餅をつくひのきしんが毎年詰所で年末27日に行われる。今年も26日の洗米・準備に約10名程の人が寄り、27日には40名を越える人がひのきしんに汗を流した。



沿道の声援を受け 京都・都大路を疾走する 彩さん 12月20日

夢を叶え力走!!

日南住彩さん・世羅高2年
上下分よぶく宣孝さん長女

女子 第21回 全国高校
駅伝競走大会 出場

娘から突然の電話です。「お母ちゃん、やったよ。駅伝大会の選手に選ばれたよ！」「はっ、えっ、えっ、ほんまに！ほんまなん？」それは、一年生の秋、全国大会出場が決まった時の会話です。我が家は奇跡が起きたと大変な大騒ぎ。とても信じられない事でした。と、言うのも、中学時代、主要な大会へ出れば、最後尾を走り、コーチも高校へ入っても練習へついていくのも難しいよと言われていたのです。そんな子が走るのが好きと言うだけであの世羅高へ入学したのです。案の定、大会へ出れば最下位。チームでもいつも一番最後を走っていました。まあ、三年間、辞めずにいてくれればそれでいいかと思っていたのです。それが、あれよあれよと言う間に…。

高校では、寮に入り、親元を離れ、慣れない生活の中、どれだけ、悔し涙を流しながら厳しい練習に耐え努力したのか、全く親が干渉出来ない中にいましたので、想像すら出来ません。頑張る力だけは神様に与えて頂いたのかなと思います。娘は、小さい時は泣き虫で気が弱い子でしたが、とても素直で教会行事や毎年の子供おぢば帰りには必ず帰らせて頂き、少年ひのきしん隊でも喜んで勤めてくれました。また、現在、上下の会長様の勧めで寮の近くにありますが甲井分教会へ参拝させて頂くようになりました。とても暖かく迎えて下さり、辛い時、苦しい時は親神様、教祖様に手を合わせる事ができるので、もっと早くに参拝させて頂けば良かったと話しておりました。

その後、昨年の県大会でも優勝し全国大会出場を決める事が出来ました。また、今年は、都道府県対抗駅伝の県代表メンバーにも選ばれました。底辺からスタートし日々練習に明け暮れ全国大会出場の夢を叶えた娘。親が想像出来ない道を通る娘。

「かあちゃんなあ、彩の活躍で親が勇ましてもらおうよな。」「そうよね、ほんと勿体無いよね。これからはいろんな事があるじゃろうけど私たちも頑張って神様に繋いじゃらんとね。」「うん、ポーッとしとつちやだめじゃな。神様にお礼申し上げ、皆さんに感謝して頑張ろうな。」
(日南住宣孝氏 記事提供)

◆お帰り講話

- 【日 時】 立教173年1月25日(月)午後7時より
 【講 師】 井 筒 正 孝 先生(津軽大教会部属、黒石分教会長)

◆雅楽勉強会

- 【期 日】 2月6日(土)
 【対 象】 初心者・初級者(少年会員、一般)
 【内 容】 初心者は、雅楽の基礎から勉強を、また初級者は平調の越殿楽が合奏できるよう勉強します。
 【と ころ】 大教会
 【講 師】 大教会雅楽奉仕者
 【参加費】 300円
 【申し込み】 1月29日までに大教会に申し込み(0865-66-1311)
 【プログラム】 8:30 受 付
 9:00 開講式・練習(管別)
 11:30 昼 食
 12:45 練 習
 15:00 合奏練習・お供え演奏・閉講式
 15:45 解 散

* 楽器は各自持参ですが都合がつかない人はご相談に応じます。

◆学生層育成者講習会

- 【日 時】 立教173年2月21日(日)
 【講 師】 岩 佐 円 秋 先生
 本部学生担当委員会 学生生徒修養会部部长・南阿大教会長

* 例年同様、大教会の月次祭の祭典講話として開催されます。

◆●立教173年 学生生徒修養会[大学の部]

- 【期 間】 平成22年3月3日(水)～3月9日(火)
 【受講資格】 平成22年1月8日現在、大学・短期大学・大学院・専門学校・高等専門学校(4年生以上)に在学し(天理大学、管内専門学校含む)全期間を通して受講出来る者。
 【受講御供】 8,000円
 【申込方法】 受講願書(大教会神事所にあり)に必要事項を記入し、大教会長様の署名・捺印をいただいた後、本部学生担当委員会に直接申し込んで下さい。

* 詳しくは、学生担当委員までお尋ね下さい。

◆立教173年 春の学生おぢばがえり

- 世界の友にをやの思いを ～さあ! ここ、おぢばから～
 【期 日】 立教173年(平成22年)3月28日(日)
 ◇式 典 「真柱様お言葉」(午前9時本部中庭)
 ◇直属アワー、別席
 ◇後夜祭『春まつり』(夕づとめ後、東西泉水プール前広場)

* 詳しくは、学生担当委員までお尋ね下さい。

◆鼓笛合宿

【期 間】 3月30日～4月1日 (2泊3日)

◆おつとめまなび総会

【期 日】 4月1日 (木)

【役 割】 祭 主：東ブロック、 扨者Ⅰ：東ブロック、 扨者Ⅱ：上 下、
賛者Ⅰ：福 山、 賛者Ⅱ：高 屋、 指図方：島 根
1・2下り目 島 根
3・4下り目 東ブロック
5・6下り目 福 山
7・8下り目 高 屋
9・10下り目 西ブロック、府中市
11・12下り目 上 下

◆別席ひのきしん団参

【期 日】 6月27日(日)●

◆笠岡一手一つ大会

【期 日】 10月31日

◆各行事に参加ご希望の方は、

各ブロックの担当者にお申し込みください

・原・稿・募・集・

内 容

①小随筆 ②教会・布教所の独自の活動の紹介
③俳句・和歌・川柳 ④教会行事開催後の報告記事 等々

字 数

1000字前後(800字～1200字)
題名・所属教会名・氏名を明記して下さい。
俳句等は1句からでも結構です。

寄 稿 先

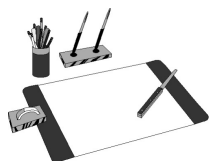
下記、大教会内『かさおか』編集掛宛ドシドシご寄稿下さい。

郵 便：〒714-0066 岡山県笠岡市用之江377

F A X：0865-66-1314

メール：tenkasa@yahoo.co.jp

尚、原稿はお返し致しませんので、予めご了承下さい。



笠岡大教会 年間行事 予定表

部会 月	婦 人 会	青 年 会	少 年 会	学 生 会 学生担当委員会
1	28 創立の日			31 おぢば管内の学生のつどい
2	3 委員・直轄委員長研修会			21 学生層育成者講習会
3	3月20日～5月9日 創立百周年記念展示会 3月20日～5月10日 別席月間		21 育成講習会 (おとまり会に役立つ ゲーム・ソング) 28 春の学生おぢばがえり 後夜祭 (直属アワー)	3～9 学修 大学の部
4	18 創立百周年記念行事 (女子青年の集い・よろこび広場) 19 創立百周年記念 第92回総会		30～1 鼓笛バンド講習会 1 おつとめまなび総会	25 おぢば管内の学生のつどい
5	29・30 こかん様に続く会	23 ソフトボール大会 ひのきしん 29・30 十三峠越え	21 縦の伝道講習会	
6		1～24 一ヶ月ひのきしん隊		
7				
8	22 女子青年おつとめまなび	29 部属分会委員長練成会 29～5 全分会布教推進週間	22～24 キャンプ	9～15 学修 高校の部 22～24 キャンプ (少年会と共同開催)
9	23 委員部長後継者講習会 並びに 母親講座 25・26 女子青年 別席団参			
10	10月20日～11月30日 別席月間	27 本部青年会総会		
11		28 ひのきしん団参		
12				輸 送 部
備 考	◎支部例会(毎月3日午前10時) ◎直轄委員長連絡会(毎月次祭後) ◎女子青年例会日(毎月第4日曜日) ◎ひまわり会(毎月1日、4月のみ5日) ◎女子青年神饌物洗ひのきしん (毎月19日)	◎大教会ひのきしん 毎月19日 午前9:00～	◎教会おとまり会の実施	1月25～27 春季大祭参拝 4月17～19 教祖ご誕生祭参拝 7月26～4 こどもおぢばがえり 10月25～27 秋季大祭参拝

立教173年(平成22年/2010年)

部会 月	全体行事	ひのきしん	布教部	海外部
1	4~18 直轄教会春季大祭参拝 20 年頭会議	25~27 春季大祭詰所受入		
2	2~15 部内巡教 6 雅楽勉強会(初心者・初級)	16~28 本部食堂(福山ブロック)	26・27 教会長講習会 28・1 修養科修了講習会	
3	2~15 部内巡教			広島・倉敷で 英文パンフレットでにをいがけ
4		17~19 教祖ご誕生祭詰所受入	29 全教一斉ひのきしんデー	
5	4~18 直轄教会定期巡教 23 大教会長杯 親善大ソフトボール大会	1~15 本部食堂(高屋ブロック)	28・29 修養科修了講習会	
6		1~20 直属ひのきしん特別隊 27 別席ひのきしん団参		
7		1~23 直属ひのきしん特別隊 16~31 本部食堂(島根ブロック)		
8	26~4 こどもおぢばがえり	25~4 こどもおぢばがえり詰所受入	28・29 修養科修了講習会	6・7 英語講習会
9		境内掛交替	1~30 布教推進強調月間 28~30 全教一斉にをいがけデー	
10	4~18 直轄教会秋季大祭参拝 31 笠岡一手一つ大会	1~15 本部食堂(上府ブロック) 25~27 秋季大祭詰所受入		
11			28・29 修養科修了講習会	広島・倉敷で 英文パンフレットでにをいがけ 21 海外伝道講習会 (月次祭に合わせて)
12	20 心定め提出 22 年末大掃除	27 詰所餅搗		
備考	◎常詰会議 毎月29日 午前10:00 ◎役員会議 毎月29日 午後 1:00 ◎連絡会議 毎月29日 午後 2:00 ◎直轄教会長の集い 毎月20日 午後 2:00 ●雅楽会練習 毎月次祭前日夕勤後 舞楽練習 随 時	註：ブロックの区分けは 東：岡山県以東の直轄教会とその部内教会 西：広島県以西の直轄教会とその部内教会 上府：上下、府中市	◎おかえり講話 1月25日、4月17日、 10月25日 いずれも午後 7:00	◎月例勉強会(毎月21日) ◎『英文かさおか』発行 ◎海外よふぼく月報

※役員並びに直轄教会長会議：2月は末日、4・7・9・12月は20日(直轄教会長の集いに替えて行なう)

第827期修養科募集要項

***修養科期間**

立教173年3月1日～5月27日

***教 養 掛**

3ヶ月間 田 中 隆 之 (大教会准役員・福山分教会長)
 1ヶ月目 高 島 定 彦 (出雲分教会長)
 2ヶ月目 三 宅 俊 正 (作備分教会長)
 3ヶ月目 藤 本 基 喜 (恵陽分教会長)

***募集要項**

- ・ 志願者は、3月末日現在で満17歳以上で、下表の必要書類を携え、上級教会を經由して大教会に順序参拝すること。
- ・ 2月25日までに笠岡詰所に入所し、教養掛の面接を受けること。
- ・ 3ヶ月の修養期間を修了後は、大教会での修養科修了講習会を受講し、5月29日の昼食後に解散。

***教 科 書 (必須)**

『おふでさき』、『みかぐらうた』、『天理教教典』、『稿本天理教教祖伝』。

***参 考 書 (出来れば持参)**

『おてふり概要』、『なりもの練習譜』(笛・打楽器または三曲)、『おやしき・史跡案内』。

***携 行 品**

おつとめの扇、筆記用具、認印、笛(男鳴物の講義で笛と小鼓の内、笛を選択する人のみ)。

***服 装**

ハッピー及び帯・バンド、長ズボン(又は、それに類するもの)、靴。

書 類	大教会	詰所	備 考
「順序参拝票」	○	○	
「別 席 願」	○	○	・「初席願」の順序参拝がまだの者で、修養科入学後に初席を運ぶ者のみ。
「席 札」		○	
「別席のしおり」	○	○	・願書に日付を入れない事。
大教会 御供	○		・おさづけの理拝戴願の順序参拝も合せて行なう。
本 部 御供		○	
「おさづけの理拝戴願」	○	○	・「おさづけの理拝戴願」の順序参拝がまだの者のみ。
「おはなし」	○		
大教会 御供	○		・願書に日付を入れない事。
本 部 御供		○	
「修養科入学願」		○	・御供は任意であるが、慣例により、200円以上。
「修養科入学事由書」		○	
修養科入学御供	○		
「住民票」		○	

十二月月次祭祭文

これの笠岡大教会の神床にお鎮まり下さいます

親神天理王命の御前に 会長上原理一 慎んで申し上げます

親神様の子供かわい第一条の親心溢れる御守護とお導きを頂いて 日々は結構に恙なく生活させて頂いております事は誠に有難く勿体ない極みでございます

私共は御恩報じとの思いから日々は朝夕に御礼申し上げつつたすけ一条の御用の上に勤め励ませて頂いておりますが 思いよりも早く今年も年の瀬を迎えてしまいました 一年を振り返ってみますと 世上では世相を表す「新」の文字の通り 新政権誕生・大リーグ新記録・新型インフルエンザと新たな始まりに揺れた一年でありました 又笠岡に於いては創立百二十周年に向かう三年千日と仕切った新たな成人の歩み出しの年として 「初代の心にかえり信仰の喜びを深めよう伝えよう広げよう」とのスローガンの基、三つの実践項目を揚げ成人の歩みを進めてまいりましたところ 十月の別席ひのきしん団参には一千名を越える帰参者を御守護頂く等成人の歩みが届かぬながらも充実した歩みにならせて頂く事が出来ました そんな中笠晴分教会が生まれ替わって 新たな成人の歩みが始まった事も「新」の一年にふさわしい出来事と喜ばせて頂いております

今日の吉日は十二月の月次祭を執り行う日柄でございますので 只今からおつとめ奉仕人一同 月々の御礼と共に今年一年の御礼も合わせて喜び感謝の心一杯に 明るく陽気に勇んで坐りづとめてをどりをつとめさせて頂きます 御前には師走の慌ただしさ 又寒さ厳しき中も厭いませず 今日の日を楽しみに寄り集いました道の子供達が同じ思いに伏し拝み言改めて御礼申し上げます 声高らかにお歌を唱和する状を御覧下さいまして 親神様にもお勇み下さいますようお願い申し上げます

さて年が改まれば創立百二十周年に向けて三年千日と仕切った二年目に当たります 三つの実践項目の内 本年は自らの理作りに重きを置いてつとめた感がありますので 来年は伝えすなわち育てに重きをおいて成人の歩みを進めさせて頂く所存でございます

何卒親神様には 新しい事の始め出しにありがちな戸惑いや迷いの風潮の中にも親孝心一筋にたすけ一条に邁進する皆の誠真実の心をお受け取り下さいます 悔いを残さず一年を終えると共に希望と喜びに満ちた新年を迎えさせて頂きますようお導きの程を 一同と共に慎んでお願い申し上げます

大教会だより

◎教会長資格検定講習会修了者

後期 立教172年12月20日終講

輝美濃 谷内 秀 自

◎新規ブロック分けについて

従来、ひのきしん等の際に分けていた「直轄1」・「直轄2」のブロック分けは、本年より、岡山県および広島県の県境を起点に、岡山県東を「東ブロック」、広島県以西を「西ブロック」とすることになりました。

なお、福山・高屋・島根・上府の各ブロックにつきましては従来通りです。

これに伴ない東西の各ブロックは、左記の教会およびその部内教会となります。

【東ブロック】

笠岡(直のみ)・鶴山・弥高山・陽備・摩耶・金浦
興明・陶山・芳井・海松ヶ岡・東悠・吸江・照陽
輝美濃・新山邑・皆部・明石市・備中・錦備・笠晴

【西ブロック】

神邊 久松・ひろさと・呉照・東城・服部・島中
驛家・油木・葦陽・湯田原・神昭・美之郷



▲長い間『かさおか』の巻頭表紙を流麗なタッチで飾ってくださった
福満分教会前会長夫人・福島悦子奥様の作品です。
一年間、誠にありがとうございました。

▶ 表紙の絵

今月からは、神邊分教会よふぼく・小坂道和さんの作品です。

こころの詩

▼『天理時報』1月1日号、「新春歌壇」より転載
玉砂利を踏む感覚が

よろこびのリズムとなりて

守護に涙す

東悠分教会前会長夫人 田林 美智子



こんな話しを耳にしました。今回、青年会ひの
きしん隊でのある雨の日の雑談話で、カタカナで
マタカと言う言葉には、ちょっとした一文字の漢
字が隠されています。まず、マをカタカナにして、
タを漢字の田にします。そして最後にカをカタカ
ナにして、それを合体させると何と「勇」と言う
漢字になります。

そのことから、いつも、周囲から言われる事に、
マタカ、マタカ・・・という気持ちになります
が、このマタカという気持ちで接するより、マタ
カと言う言葉を「勇」に変換する様な気持ちで、
通るようにしたい。と聞いて自分も共感する所が
あった。

(じ)